



脱炭素先行地域の取組が本格スタート 公共・民間施設や家庭への太陽光発電等の設置、EVパッカー車の運行開始

令和5年4月に環境省から「脱炭素先行地域」に選定された本市。公共・民間施設（集会所等）232施設とひかりが丘・萩の台住宅地自治会1,345世帯を先行地域として設定し、2030年ゼロカーボンに向け、国の交付金を活用して太陽光発電と蓄電池（以下「太陽光発電等」という。）の設置を進めています。

また、運輸部門のCO₂排出量削減の取組として、公用車やごみ収集車等のEV化も進めています。

■ 先行地域への太陽光発電等の設置

◇公共施設

令和6年度内に、以下の10施設に計861kWの太陽光発電と計120kWhの蓄電池を設置完了します。

設置施設：壱分小学校、生駒東小学校、あすか野小学校、
生駒台小学校、真弓小学校、鹿ノ台小学校、
大瀬中学校、光明中学校、エコパーク21、
清掃リレーセンター



▲あすか野小学校

◇集会所

令和6年度は、萩の台住宅地自治会館に5kWの太陽光発電と5kWhの蓄電池を設置しました。地域住民が歩いて行ける距離にある集会所に太陽光発電等を設置することで、災害時の一時的な避難場所としての活用が期待できるため、市内の各自治会に太陽光発電等の設置を呼び掛けています。

◇家庭

先行地域である、ひかりが丘・萩の台住宅地自治会の各家庭に太陽光発電等の設置を進めるため、下記の登録事業者の協力を得て、4月から受付を開始します。国の交付金を活用し、設置費用の3分の1の自己負担で設置できます。今後、さらに他の地区にも拡大を目指します。

登録事業者：(株)陽幸、(株)阪奈ガスセンター、(株)トラーチ、(株)イオンフレックスホールディングス

■ EVパッカー車の運行開始

生駒市のプラスチック製容器包装収集運搬業務の受託者である(株)生駒市衛生社が、プラスチック製容器包装収集車両3台のうち、1台をEVパッカー車に換え、3月3日（月）から運行を開始します。EVパッカー車の導入により、CO₂の排出を約15t/年削減することができます。



この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市 SDGs 推進課（課長 木口） ☎0743-74-1111(内線 2100)